

<b>科目名 Course Title</b>	新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院教育コース		
<b>講義題目 Subtitle</b>	大学院特別演習:デモーラ(企業課題解決演習)		
<b>責任教員 Instructor</b>	金子 純一 [KANEKO Junichi] (大学院工学研究院)		
	新渡戸カレッジ: 谷 博文 [TANI Hirofumi] (大学院工学研究院)		
	新渡戸カレッジ: ロマーエヴァ マリーナ [LOMAEVA Marina] (高等教育推進機構)		
	新渡戸カレッジ: ホイトフィールド デールリー [WHITFIELD Dale Lee] (高等教育推進機構)		
<b>担当教員 Other Instructors</b>	椎名 希美 [SHIINA Nozomi] (産学・地域協働推進機構)		
<b>科目種別 Course Type</b>	新渡戸カレッジ独自科目		
<b>開講年度 Year</b>	2023	<b>期間 Semester</b>	1 学期
<b>授業形態 Type of Class</b>	演習	<b>単位数 Number of Credits</b>	2
<b>補足事項 Other Information</b>	-		
<b>キーワード Key Words</b>			
PBL、企業課題、新規事業			
<b>授業の目標 Course Objectives</b>			
<p>本科目は、大学院共通授業科目(一般科目):人文社会科学「企業課題解決演習 I」として開講し、新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院教育コース履修生へは、「大学院特別演習:デモーラ(企業課題解決演習)」としても開講する。学生自らの専門的知識と新渡戸カレッジ基礎プログラム大学院教育コースで培った「3+1 の力」(能力更新力、組織形成力、社会還元力、専門職倫理)を活用し、チームによるプロジェクトを進めていく。</p> <p>本授業は、フィンランド発祥の DEMOLA の教育プログラムを活用して、アントレプレナーシップ/イントレプレナーシップの思考・行動アプローチを実践的に学び、体得することをめざすプログラムである。学生は、2ヶ月間、フード&amp;メディカル国際拠点あるいはオンラインで開催されるオープンイノベーション手法のワークを受けながら、学生と企業人で構成するチームの一員として、企業が抱えるビジネス上の課題の価値提案モデルを組み立てる。課題提出企業がアイデアを気に入った場合には、ライセンス契約等に至る場合がある。</p>			
<b>到達目標 Course Goals</b>			
<p>本授業の到達目標は、以下の通り</p> <p>(1) DEMOLA プログラムへの参加を通して、ビジネスモデルの設計・具体化・検証のサイクルを学び、その加速化によって、イノベーションを起こすために求められる思考と行動の習慣を身につける。</p> <p>(2) 実際の企業の課題を解決に導く、精度の高いビジネスアイデアを立案するアプローチを学ぶ。</p> <p>(3) 企業の課題が根ざしている社会的な構造と、世界的規模で直面する未来のトレンドを理解し、よりインパクトの大きいビジネスモデルに磨きあげるメソッドを体得する。</p> <p>(4) 知的財産権の価値に気づき、管理・運用するスキルを学ぶ。</p>			
<b>授業計画 Course Schedule</b>			
<p>(1)以下の DEMOLA プログラムを、5 日間で開講する。</p> <p>(2)基本的に土曜日に実施する。(Final Demonstration は日曜日開催の可能性ある)</p> <p>*オンラインと対面のハイブリッド開催を予定している。</p> <p>kick off(ガイダンス/講義/ディスカッション)  JAM I (講義/演習)  JAM II (講義/演習)  Demo Practice(講義/演習/ディスカッション)  Final Demonstration(演習)</p> <p>2023 年度開催予定  1st バッチ 4 月 8 日～5 月 27 日  2nd バッチ 8 月 5 日～9 月 24 日  いずれかのバッチを受講すること。</p>			
<b>準備学習(予習・復習)等の内容と分量 Homework</b>			
グループ内で協議の上、進捗に合わせて情報収集やデータ整理等を行う。			

## 成績評価の基準と方法 Grading System

授業への参加・貢献度(発表・ディスカッション等):40%  
課題提出(プラン最終版):30%  
最終プレゼンテーション:30%

## テキスト・教科書 Textbooks

MBA のためのビジネスプランニング 改訂版:同文館出版、2012  
MBA のためのビジネスプランニング手法:同文館出版、2010  
上記以外の参考文献については、適宜、授業の際に紹介します。

## 講義指定図書 Reading List

## 参照ホームページ Websites

<https://demola-hokudai.jp/>  
<https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/>

## 備考 Additional Information

※ 履修までの流れは下記の通り。

事前に DEMOLA HOKKAIDO 事務局が実施する契約説明会に参加する必要がある。

契約説明会への参加は、DEMOLA HOKKAIDO のウェブサイト(<https://demola-hokudai.jp/>)から申込みをおこなう。

契約説明会参加後、申込期限内(おおよそ 1 か月間)に参加希望ケースを選択し(複数申込可)、参加申込をおこなう。

申込完了後、プログラム開始 1 週間程度前に、参加可否の連絡が DEMOLA HOKKAIDO 事務局より通知される。

履修登録者はチームメンバー決定後、事務局で一括して行う。

1st バッチ、2nd バッチともに受講することは原則可能だが、大学院共通授業科目「企業課題解決演習 I」の単位は 1 回のみ取得可能となる。

本講義の受講を希望する学生は大学院共通授業科目「ビジネスゲーム演習」、「ビジネス基礎」、「ビジネス基礎 II」を受講していることが望ましい。

※ 本科目は、大学院共通授業科目(一般科目):人文社会科学「企業課題解決演習 I」として開講され、新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院教育コース履修生で、当該科目の単位を修得した者は、新渡戸カレッジオナーズプログラムの「大学院特別演習:デモラ(企業課題解決演習)」の 2 単位を修得したものとみなし、同プログラムを修了するために必要な単位に含めることができる。ただし、「デモラ(企業課題解決演習)」の 2 単位とみなすことができるのは、「企業課題解決演習 I」と「企業課題解決演習 II」のいずれか 1 科目のみである。

※ 2nd バッチを受講した場合は、成績評価の公開が後期となるため、前期の成績に含めることができないので注意すること。

詳細については、新渡戸カレッジ独自科目責任教員(谷、[tani@eng.hokudai.ac.jp](mailto:tani@eng.hokudai.ac.jp))に問い合わせること。

<参考>

3rd バッチ 10 月 14 日～12 月 2 日 企業課題解決演習 II